



▲昭和9年オープン of 『子供の国遊園地』



▲紅葉谷を通るバス



▲大正15年当時の登別温泉街

登別温泉を含む『支笏洞爺国立公園』が昭和24年に指定されました。この国立公園の指定を契機に、昭和26年に登別温泉初の『温泉祭り』が開催されました。

国立公園の指定と温泉祭り

観光地だけではなく、科学的温泉治療医学のメッカとして脚光を浴びることになりました。

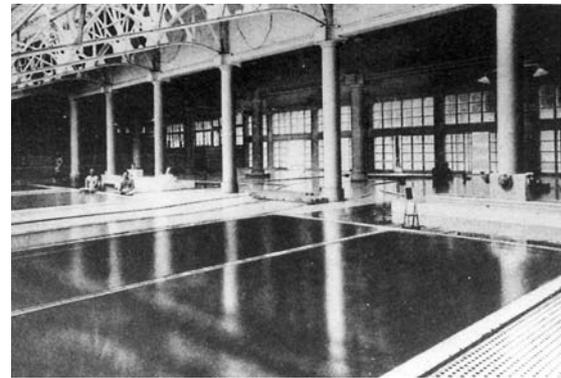
労働災害による負傷者が多く、厚生省が温泉治療を取り入れた整形外科を主とする病院建設地を探していたため、泉種の豊富な登別温泉が該当になったと考えられています。国立登別病院は、昭和15年に開院した傷い軍人登別温泉療養所と昭和18年に湯本ホテルを転用して開院した大湊海軍病院登別分院が、終戦の昭和20年に統合され発足しました。これらの設置により、登別温泉は

昭和24年に登別温泉地獄谷から大湯沼までの遊歩道や倶多楽湖周辺道路が年次計画で整備されるようになり、その後、登別と登別温泉間が舗装され、砂ぼこりが舞っていた道路の問題が解消されました。続いてカールストオロフレ峠までの改良工事、昭和35年には登別温泉とカールス間の道路の切り替え工事が行われ、これらの一連の工事によりモータリゼーション時代の幕明けにふさわしい道路網が完成しました。

観光道路の整備

この祭りは、多くの町民や観光客が参加し、スポーツや踊り、歌謡大会、花火大会など昼夜無く3日間続けられ、その宣伝効果は十分だったと思われる。そして、この祭りが現在の『地獄まつり』の先駆けとなりました。

18年	17年	16年	13年	4年	平成2年	61年	60年	55年	53年	50年	47年	45年	41年	39年	36年	33年	32年	30年	29年	
(2006年)	(2005年)	(2004年)	(2001年)	(1992年)	(1990年)	(1986年)	(1985年)	(1980年)	(1978年)	(1975年)	(1972年)	(1970年)	(1966年)	(1964年)	(1961年)	(1958年)	(1957年)	(1955年)	(1954年)	
鬼火が誘う地獄の谷を開催	大湯沼川探勝遊歩道親水施設(足湯)がオープン	登別温泉地獄谷が北海道遺産に選ばれる	登別温泉地獄谷が環境省のかおり風景100選に選ばれる	登別伊達時代村がオープン	登別マリノパークニクスがオープン	新登別大橋が開通	道央自動車道、登別東〜白老間が開通	第一回登別温泉、お花見天国を開催	第一回登別温泉、お花見天国を開催	登別温泉開基120年記念、赤鬼・青鬼像建立	登別温泉が草津温泉と姉妹温泉を締結	登別温泉、昭和49年度の宿泊客100万人を突破	第一回登別温泉、登別市となる	第一回登別温泉まつりを開催	第一回登別温泉まつりを開催	市制施行、登別市となる	第一回登別温泉まつりを開催	登別温泉開湯100年祭を挙げる	温泉科学博物館がオープン	天皇皇后両陛下ご来町、登別グランドホテルにご宿泊



▲昭和12年オープン of 『登別温泉大浴場』



▲昭和40年オープン of 『大湯沼熱帯植物園』